

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	スピーチⅡ		（ NCR13B ）
講義名（コード）	スピーチⅡ		（ NCR13BX ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	堀 文	時間数	30
成績評価教員	堀 文	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	人前で自分の考え、主張を述べるができる。わかりやすく言葉で人に伝える技術は、将来どのような業種の仕事についても役に立つ。
全体の内容と概要	あるテーマについて原稿を作成し何度も発表練習をする。ただの作文ではなく、聞いている人にわかりやすく、心に響くようなスピーチになるよう話し方の練習もする。
授業時間外の学修	発表練習を何度も行う。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	英語のスピーチの特徴	Youtubeで英語のスピーチを見てその特徴を理解する。
2	英語のスピーチの構成を理解できる。	例を見ながら英語スピーチの構成を理解する。
3	簡単な英語スピーチができる	簡単なテーマの英語スピーチを作成する。
4	簡単な英語スピーチができる	簡単なテーマの英語スピーチを作成する。
5	簡単な英語スピーチができる	英語スピーチを発表する。
6	国際問題について考えることができる	国際問題についてクラス内で賛成・反対意見、問題点の原因などを抽出し話しあう。
7	国際問題について考えることができる	国際問題についてクラス内で賛成・反対意見、問題点の原因などを抽出し話しあう。
8	国際問題について考えることができる	自分の興味のある現在起こっている国際問題について調べ、現状・問題の原因についてまとめる。
9	国際問題についての英語でスピーチができる。	自分の興味のある現在起こっている国際問題について調べ、現状・問題の原因についてまとめる。
10	国際問題についての英語でスピーチができる。	自分の興味のある現在起こっている国際問題について調べ自分の意見を入れたスピーチ原稿を英語で作成する。
11	国際問題についての英語でスピーチができる。	自分の興味のある現在起こっている国際問題について調べ自分の意見を入れたスピーチ原稿を英語で作成する。
12	国際問題についての英語でスピーチができる。	国際問題についての英語スピーチの練習を行う。
13	国際問題についての英語でスピーチができる。	国際問題についての英語スピーチの練習を行う。
14	まとめと解説	期末試験：スピーチ発表
15	まとめと解説	クラスのみinnでそれぞれの発表の評価とフィードバックを行う。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	